

浅井町ふれあいたより

12月号

発行日 平成25年12月1日 発行者 浅井町地域づくり協議会

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)

浅井中フェスティバル

一宮市立浅井中学校 校長 坂井 辰美

体育祭に並ぶ2学期の2大行事である「浅井中フェスティバル」が11月9日(土)に行われました。体育祭が終わるところから本格的に練習が始まり、音楽室から聞こえてくる歌声は徐々にレベルが上がってきました。1か月あまりにわたる練習の成果を発揮する今年度の浅井中フェスティバルは「心を一つに 歌声一つに 一唱懸命!」をテーマに開催されました。

1年生の歌声は、フェスティバル初参加ということもあって緊張感が伝わってくる合唱でした。男子は変声期のため納得できる声なかなか出ない中元々よく歌うことができました。2年生は男子の声がしっかりしてきます。一気に合唱のレベルが上がりました。特に、優秀賞をとった4組の「モルダウ」は3年生にも劣らない合唱でした。1年間でこれほどまでに中学生は心身ともに成長できるのかと実感できました。3年生は、無伴奏のアカペラで歌った学級や英語の曲に挑戦した学級などバリエーションに富んだ合唱になりました。そのため、例年以上に曲が難しく悪戦苦闘しながら練習に取り組んでいましたが、さすがに最高学年です。3年生のプライドを見せてくれた合唱でした。3学年ともに浅井中生の誇りを感じさせる内容でした。しかし、3学年ともに当日を迎えるまでにはいろいろな試練があったことだと思います。「心を一つ」にしようと仲間の力を信じて練習に励んできたことでしょう。この「一唱懸命」な頑張りや「歌声一つに」できた原因だと思います。自信を持ってよいのではないのでしょうか。



2年4組合唱曲「モルダウ」



3年6組 優秀賞の表彰

最後に、当日は多くの方にご参観いただきました。保護者の方だけでなく多くの祖父母の方々にも生徒たちの姿を見ていただき、盛大な拍手で励ましていただけました。ここに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

大日比野子ども会 愛知県子ども会大会で表彰される

11月9日(土)、名古屋市公会堂(鶴舞)で第51回愛知県子ども会大会が開催され、大日比野子ども会が愛知県社会福祉協議会長賞を受賞しました。

表彰式には指導者の祖父江倫子さんと、代表の松浦琴未さん、中井彩月さん、加藤詩奈さんが出席、賞状と記念品をいただきました。大日比野子ども会の児童数は177名で、浅井町で最も多く、その活発な活動が認められたものです。



各町内とも児童数が減少傾向にあります。皆で工夫して楽しい子ども会活動を続けていきましょう。

文化の秋真っ盛り

「浅井町文化祭」

文化の日の11月3日(日)、爽やかな秋空の下、浅井町文化祭が開催されました。公民館で活動されている各クラブの皆さんの力作が所狭しと出品され、どれも素晴らしい作品ばかり。屋外では新鮮な野菜、果物、お菓子や香ばしい匂いがいっぱいのみたらし団子、五平餅が販売され、恒例の「すいとん」は、長蛇の列ができるほど好評でした。皆さんから頂いた野菜でつくる「すいとん」は、浅井町の誇れるご馳走です。また今回も浅井中学校の生徒さん33名がボランティアで参加、大活躍してくれました。秋の日の文化祭は、浅井町の人々の絆を深める大切なお祭りです。心もお腹も一杯にしてくれた幸せな一日でした。(公民館 川路)



「浅井南小 学習発表会」 「浅井北小 学芸会」 「浅井中小 学芸会」



11月16日(土)、浅井3小学校の学習発表会と学芸会を鑑賞しました。運動会からひと月半、各学年とも一生懸命制作した作品や演技を披露してくれました。とくに六年生は最後の発表会、一人ひとりが学び、手をつなぎ、自分の殻を破り、力を合わせて取り組んだすばらしい成果を見せてくれました。

◎南小6年「平和への思いを伝えよう」「この少年の悲しみがあなたにわかりますか。」(銃を構え、目に涙を浮かべる少年兵。)

◎歴史の世界に」人々の平安を願う大仏開眼と戦国時代に生きる人々を対比させた共同制作ジオラマ

◎北小6年「人間になりたがった猫」「人間は欲が深く、愚かな生き物だ。」(ステファネス博士)「いいえ、とても素敵です。一人で生きていけないから素敵な友達とこの手をつなぐ。仲間がいればつらくない。」(ライオネルの仲間)

◎中小6年「バックトゥザフューチャー2013」「自分を信じてくれる人に応えることが私の使命です。」(行基菩薩)「いやなことを誰かに押し付けて逃げまわる。そんな人を誰が信用するか。」(クラス班長)「未来は平和で、災害や病気、争い事がなくなっていますか。」「与えられた試練を乗り越えればきっと未来が開けます。」(聖武天皇)心のこもった作品や演技、力強いせりふの一言一言に、会場の皆様全員が感動し、地域の子供たちを誇らしく思われたことと思います。子供たちを見守り指導して下さる先生方に感謝いたします。(地域づくり 奥田)

「ピカピカ大作戦」できれいな町に

浅井町では、11月10日(日)小中学生を含む3700名を超える方にご参加頂く予定で、「ピカピカ大作戦」と称するゴミゼロ運動を準備しておりました。当日は天候が不安定で、実施に入った町内も、24日に順延した町内もありました。この取り組みは浅井町として自慢のできる事業で、特にボランティアで子供さんにも多く参加して頂き、ゴミ拾い、草刈などを行います。自分の生活している町がきれいになったという実感を体験して頂き、これからの時代を背負う若い方々に引継ぎたいと考えております。(連区長 黒部)

紅葉につつまれ 「あざい さわやかウオーク」

11月17日(日)、「あざいさわやかウオーク」が大野極楽寺公園で開催されました。公園管理棟から総合体育館を折り返す5キロのコースで、園児から80代まで約100名の方々が、小春日和の紅葉を楽しみながらゴールされました。

